



### 今月は「アルメニア」を覚えてお祈りください

アルメニアは南コーカサスに位置する共和制国家。首都はエレバンで、黒海とカスピ海の間にある内陸国であり西にトルコ、北にジョージア、東にアゼルバイジャン、南にイランとアゼルバイジャンの飛び地ナヒチェヴァン自治共和国と接する。1991年にソビエト連邦から独立した。ナゴルノ・カラバフを巡ってアゼルバイジャンと、アルメニア人虐殺に対する歴史認識をめぐるトルコと激しく対立していたが、近年はアルメニア大統領が両国を訪問するなど関係修復を目指して対話を行っている。

### アルメニアの経済・政治・宗教について

アルメニアは文化としては 2,500 年もの歴史をもっているが、独立したことはほとんどなかった。旧ソビエト連邦からは 1991 年に独立した。地理的にトルコや旧ソビエト、さらにペルシャといった強国に挟まれていることもあり、戦争の被害を受けつづけてきた。隣国のアゼルバイジャン領土内にはアルメニアの自治区がある。過去にはトルコとの境界線でも軍事的な衝突がおこっていた。1994 年からは国内外での軍事的な紛争はやんでいる。

敵対している隣国に対抗するために、アルメニアはロシアとの強い政治的な結びつきを保っている。政権は民主的であり比較的安定している。アルメニアの経済を支えているのは農業や鉱業で、近年では観光業が伸びつつあるが、低い就職率や貧困が蔓延している。

共産的なリーダーシップが崩れたのちに信教が自由になった。アルメニアと国教教会は密接につながっており他宗教に対する差別が少なからずのこっている。

アルメニア国教会について・・・アルメニアは紀元 301 年に、世界で初めてキリスト教を国教とした国だ。そのため国内には、かなり古くからの教会や修道院が多く点在している。中でも世界遺産に登録されているアルメニア正教の総本山「エチミアジン大聖堂」は、アルメニア人の心の拠りどころとなっている。また、アララト山(現トルコ領)は、旧約聖書にでてくる「ノアの箱舟」が漂着した場所と伝えられている。

### アルメニアのその他の情報

面積:29,800 km<sup>2</sup> (日本の約 8%) 人口:3,090,379 (日本の約 2.4% 2010 年時点)



国の花「アノモネ」



首都「エレバン」



アルメニアの子どもたち

宗教:	
キリスト教	94.43%
無宗教	3.73%
イスラム教	1.80%
バハイ教	0.03%
ユダヤ教	0.20%

**「ですから、あなたがたは、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。いやされるためです。義人の祈りは働くと、大きな力があります。」 ヤコブ 5:16**  
祈禱課題

### 隣国との関係を覚えて

隣国との関係の良し悪しはエルメニアの政治や経済に大きな影響を与える。過去における戦いや隣国との敵意は大量虐殺へとつながってしまい、隣国同士の政治不信がまだにある。1915 年～1917 年にかけてトルコ人は 150 万人ものアルメニア人を殺したとされており、これは隠れた虐殺であったと言われている。この残虐行為についてはトルコが罪を認めるようにとの外交的努力が多く行われてきたが、トルコは否定し続けている。政治的また経済的な安定のために絶えず外交的努力がなされてきたが進歩が遅いのが現状だ。アルメニアがトルコとアゼルバイジャンを受け入れ赦すことができるように。また、隣国との関係が改善され、信頼と協力関係が築かれるように。

### アゼルバイジャン領土内にあるアルメニア自治区、「ナゴルノ・カラバフ」を覚えて

この自治区の所有権をめぐる関係国家は妥協をしないようだ。自治区は実質的には独立しているものの、関係各国の間で解決されるべき問題が山積している。とくに、自治区内には両国からの難民が 80 万人もいるとされていることから、彼らの安全な定住地を政治的に決めていかなければならない。幸いにも紛争はやんでいることから、両政府が外交的にお互いの益になるような対話ができるステージがととのっている。関係国や難民の皆が益を受けられる外交的決断がなされるように祈らなければならない。

### アルメニア教会を覚えて

1700 年にも及ぶ信仰的な歴史がある。教会やクリスチャンが国内や国家間に主の祝福を呼び込み、世の光として歩むことができるように。クリスチャンが主の召しに立っていけるように。